

JAGT

日本ゲシュタルト療法学会第4回学術大会 プログラム

大会テーマ

「ゲシュタルト療法の基礎と多様性、それらを繋ぐ創造性」

開催：2013年 7月13日（土）～14日（日）

会場：かながわ県民センター／かながわ労働プラザ

大会長：江夏 亮（カリフォルニア臨床心理大学院）

第4回大会に寄せて

日本ゲシュタルト療法学会第4回学術大会

大会長 江夏 亮

2013年度の日本ゲシュタルト療法学会第4回学術大会は横浜で開催することになりました。前大会のテーマは「多様な現場で活用されるゲシュタルト療法の役割」でした。これを一歩進めてみましょう。多様な現場でゲシュタルト療法をより役立つものにするためには、それぞれのゲシュタルトセラピストがその現場に合うように、より効果的にゲシュタルト療法を適用する工夫を求められます。その時、基礎をより深く理解していれば、より効果的に応用できると考えられませんか？そこで、この学術大会では、ゲシュタルト療法の基礎と、それを多様な現場（及びクライアント層）に応用した結果としての多様性に着目する事にしました。また、基礎と多様性を繋ぐキーワードとして、創造性を選びました。

ゲシュタルト療法の効果に寄与する基本的な因子・要素は何でしょう。タイトルの「基礎」にはこのような意味合いを含ませました。この意味からすると、日本のゲシュタルト療法の基礎と欧米での基礎に違いがあるかもしれません。個人の心理的・文化的な背景が異なるからです。背景が異なれば、当然、前景も異なります。日本社会という「今、ここで」のゲシュタルト療法の基礎は、そこで実践をしている人々の経験の共有と議論から生まれてくる部分を必要とするのではないのでしょうか。これを形にする目的で、シンポジウムをもうけました。異なる先生から学んだ日本のゲシュタルトの実践家からどのような議論が生まれるのか、楽しみです。

各人が基礎を共有できれば、それぞれの多様性を認め合うのも容易になります。日本人はとかく、自分達の集団と違う人を抑圧し、排他、排斥する傾向があります。この傾向は、学校での生徒、児童のいじめの背景的な要因として存在するだけでなく、大人社会にも存在するかもしれません。個人の心の中で、抑圧され、排斥された部分を、ゲシュタルト療法では、disowned part と呼び、その統合がゲシュタルト療法の方向性の一つです。そうであれば、その精神をグループにも広げ、この大会でも実践していきたいと思えます。

「え！それがゲシュタルトなの」と寛容に互いに認め合う瞬間をより多く共有して、豊かな多様性が花開く事を願います。

最後は創造性です。皆さんの現場でゲシュタルトをこれまで以上に効果的に使おうとすれば、その答えは、その現場をよく知っている皆さんの中にあるはずですが、それを見出すためには、創造性の発揮が鍵となるのではないのでしょうか。このプロセスの中で、それぞれが独自のやり方を創意工夫すれば、それは、この学会全体の成長と同義語になります。

それぞれの経験を学会で発表して、みんなの知恵につなげましょう。

前回大会と同様、本大会も実りあるものとなりますよう、皆さま方の暖かいご参加をお願いいたします。

【大会プログラム】

7月13日(土)

～午前のみ メイン会場 2階ホール・・・かながわ県民センター

9:30 受付

10:00 開会式

10:10 基調講演 江夏 亮 (日本ゲシュタルト療法学会第4回学術大会 大会長)
「ゲシュタルト療法の基礎と多様性、それらを繋ぐ創造性」

ゲシュタルト療法の効果因子の一つに、「気づき」を得るということがあります。気づきを得るためには、意識を向ける、注意を向ける必要があります。即ち、意識や注意には指向性があります。そしてこの指向性の先には、指向される対象として、ゲシュタルトの3つの「気づき」の領域があります。私達の意識がこれらの領域を自由に行き来するとどうなるのでしょうか。ゲシュタルトの可能性が広がると考えられます。このような事柄を新しいモデルに添って話を展開します。少しでも皆さんの刺激になれば幸いです。

11:10 論文の書き方講座：論文はこう読もう！

中本テリー (臨床心理学博士、カリフォルニア心理専門職大学院、
湘南記念病院、神奈川県西部地域若者サポートステーション)

11:40 総会

12:30 <昼食・休憩>

★《注意》会場移動⇒午後は「かながわ労働プラザ」4階会議室
会場移動は、20分程度の時間を要します

14:00～17:00 ワークショップ

① ライブ・スーパービジョン／ゲシュタルト・インスティテュート 岡田法悦

パーソナルグロース研究所 守谷京子

② 支える・関わる・繋がるゲシュタルトワーク

／鹿児島 GAF ネット 有村凜

③ 心とからだの深呼吸～気づきのエクササイズ～

／長野ゲシュタルト研究会 三井洋子

④ 創造的なゲシュタルトワークショップ～花セラピーとゲシュタルト

／(財)国際花と緑のセラピー協議会 青山克子

参加費 (生花代 2,000 円・当日) (定員 24 名)

17:30 懇親会 重慶飯店 別館 (中華街)

TEL 045-641-8386

7月14日(日)

～終日メイン会場・・・かながわ県民センター

9:30 受付

10:00 研究発表 前半 座長 田中千恵子 発表20分 質疑応答10分

① 「企業での人間成長、人間関係構築におけるゲシュタルト療法の可能性」
山本 誠司 (ゲシュタルト・アート・フォーカシングネット)

② 「誰でも簡単にできる『カード式 ゲシュタルトワーク』」
那須 広基 (クオンタムタム)

③ 「介護職の自己覚知(self-awareness)を促進するリフレクティブな学習」
～エンプティチェアテクニックを活用したワークマニュアルの作成と評価～
大山 博幸 (十文字学園女子大学) 萩原久子 (群馬県介護研修センター)

11:30～11:40 休憩

11:40 研究発表 後半 座長 水野賀弥乃 発表20分 質疑応答10分

④ 「ゲシュタルト療法の『今、ここでの気づきと我-汝の関わり』を用いた
心療内科でのカウンセリング事例」
有村靖子 (たばたメンタルクリニック カウンセリングルーム Wing)

◆ 特別報告【東日本大震災被災地からの報告】

「被災地の現状についてー石巻市からー」 石巻市健康推進課 高橋由美
(報告40分、質疑応答10分)

13:00 <昼食・休憩>

14:00～16:00 シンポジウム

「ゲシュタルト療法の基礎と多様性、それらを繋ぐ創造性」

概要：流れの異なるゲシュタルトセラピストをシンポジストに迎え、それぞれ
自分のスタイルについて発表してもらいます。それらを通して、スタイル
が異なるゲシュタルトセラピーの共通点と多様性の理解を深め、自分の
個性を活かしたゲシュタルトセラピーを創造していく手がかりになれば
と思います。

シンポジスト : 岡田法悦 (ゲシュタルト・インスティテュート)
田中幸治 (NPOゲシュタルトネットワークジャパン)
守谷京子 (パーソナルグロース研究所)
定行俊彰 (NPOみやぎダンス)

コーディネーター : 中西 徹 (ゲシュタルトネットワーク福岡)

16:10 閉会式

企業での人間成長、人間関係構築におけるゲシュタルト療法の可能性

山本 誠司（ゲシュタルト・アート・フォーカシングネット）

【背景】

現代社会において、企業で働く人々はバブル崩壊後 20 年以上続く不景気と言われる状況のなかで、働くことに意味を見いだせずギクシャクした人間関係のなかで仕事に追われながら、自分を見失っている。その姿をみたとき、自分の生き甲斐ややりがいを見出して生き生きと仕事に従事し、自分の人生を自分らしく生きている人は少ない。

企業にとっても社員が生き生きと仕事ができない状況は、生産性の面でも大きなマイナスであり、ましてや社員が仕事へのストレス等からうつ病等を発症し、長期欠勤や休職に追いやられることはまさに大きなダメージである。

こうした中で、社員一人一人がいかに生き生きとしたエネルギーを取り戻すのか、また、社員同士の関係や上司と部下という関係がいかに良好になるのか、それによって企業の運営がいかに円滑に実施できるのかということが重要である。

【目的】

ゲシュタルト療法のアプローチは①自己への気づき、②他者との関係性の構築を可能としてくれる。本アプローチを用いたワークショップを実施することにより、企業で働く社員一人一人の人間成長と良好な人間関係の構築、これによる円滑な企業運営の実現が可能かどうかを支店長であった私自身がファシリテーターとなり「人間成長と自己実現のワークショップ」と題して部下 9 名とのワークショップを実施し、可能性を試みた。

【ワークショップ名】

人間成長と自己実現のワークショップ

【開催時期】

2010年8月から2011年1月までの全6回（1回あたり約4時間）

【対象者】

23歳から44歳までの社員 9名

【私との関係】

同じ営業所で働く支店長と部下の関係

【ワークショップの内容】

1回目：コミュニケーションとは何か

～聴くとはどういうことか、話すとはどういうことか～

2回目：自己の探索～自分自身を知ろう（1）（自分とは何者か）

～自己とに出会い・気づき～

- 3回目：自己の探索～自分自身を知ろう（2）（自己とのコミュニケーションとは）
～自己を受け入れるとは、自己に正直であるとは～
- 4回目：自分と相手の関係を知ろう
～相手とはどういう存在なのか、相手の気持ちを理解するとはどういうことか～
- 5回目：今をどのように生きるか
～自分とはどういう存在なのだろうか～
- 6回目：今、そしてこれからの人生をどのように生きるか
～自分自身のこれからの描いてみる～

【結果と考察】

今回のワークショップは私自身にとってもチャレンジであった。

それは、部下であるメンバーが店の支店長である私のワークショップにどういう反応を示すのか... どういう関係性が生まれるのか... そういう意味では1つの可能性を示すことができたのではないか。

最初は”支店長の命令だから”とか、”支店長に言われたから”参加するという心理がメンバーにはあったと推察できる。しかし、初回の緊張していた空気は2回目、3回目とワークショップの回数を重ねるごとに、柔らかく、何でも互いに言える雰囲気醸成できたと感じる。

その最たるものが3回目のワークショップで私がファシリテーターとして一人ずつに夢のワークを実施し、それぞれに気づきがあったことに現れている。

また、日常での仕事の雰囲気も次第に変化していった。一つは良好な人間関係の醸成である。特に支店長である私と部下の関係は支店長と部下の関係を維持したままで、より親密となっていった。これにより、仕事だけでなく、プライベートな相談を普通に私にしてくれるようになった。

その関係性が構築されたことで、私自身が部下に対して遠慮なく自分の本心を伝えることができるようになったとともに、部下もまた私に対して遠慮なく本音を伝えてくれるようになったと感じる。

これにより、店の運営は以前に比べ非常に円滑となり、生き生きとした、やりがいのある店づくりが可能となった。メンバー一人一人が生き生きと仕事をし、生産性の向上へも繋がっていった。

最後に、このワークショップを通じて、参加したメンバーは様々なことに自分で気づける能力を身につけた。それは、今の自分の感覚やからだの感じに気づくことであり、他人の気持ちを理解することであり... これは非常に大きな収穫であった。

そして、この9名のメンバーはそれぞれ違う店で活躍しており、今でも月に1回の集まりが続いていることを付け加えておきたい。

誰でも簡単にできる『カード式 ゲシュタルトワーク』

那須 広基 (クオンタムタム)

【はじめに】

こんにちは、“幸せになるトランプ”の作者、那須ヒロキです。この度、私は「ゲシュタルトセラピーカード」なるものを制作しました。

どんなものか簡単に説明すると、ゲシュタルト療法でよく使われる提案や質問がカードに書かれていて、そのカードを自分で読んだり、ファシリテーターが読み上げて、ワークを楽しもうではないか、という代物です。

【カード誕生の経緯】

1年半前、初めてゲシュタルト療法のトレーニングコースに参加した時、ファシリテーターの方の言葉の使い方がとても印象深かったのを覚えています。「今・ここ」「何を感じているの?」「言葉があるとしたら、何と行っているの?」などなど、興味深いフレーズがいっぱいでした。そんな言葉を耳にしては、メモに書き溜めていました。

書き留めたフレーズを数えてみると、134個もあったので、これは何かできるぞ、と思いました。そこで、ゲシュタルト療法でよく使うセリフをカードにしてみましたらどうだろうか、という着想が浮かびました。

【とりあえず作ってみた】

134個のセリフは、内容が重複していたり、具体的な質問過ぎてカードにすると使いづらいなど、問題点がありましたので、ひとつ一つ日本語を整理して、セリフの内容をタイプ別に分類し、53枚の体裁に仕上げました。

作ったカードをトレーニングコースの合宿に持って行き、仲間にも使ってもらいました。すると、予想外にワークが成立しているのに驚きました。今までトレーニングを積んできたみんなだから、相手がカードであっても、どんどん内面の深いところに飛び込んで行っていました。

【カードの並びという問題】

ただし、良いことばかりではありませんでした。カードは偶然性にまかせているので、ワークの流れとはまったく関係のないカードが出てくることがありましたし、カードの並びによっては意味を成さないこともありました。

【そこで、頭を捻りました！！】

まず、カードの質問や提案を分類しました。

<カードの分類>

1. 意識する
2. いま・ここ
3. 焦点を当てる
4. 確かめる
5. ただそこにいる
6. まかせる
7. 表現する
8. イメージする
9. それになる
10. 対話する
11. 照らし合わせる
12. 止めていることに触れる
13. 実験する
14. 世界とつながる

ただ、内容を分類しただけでは、カードの並びに整合性を持たせることはできません。そこで…

現象的・表面的

観察すれば分かること、意識を向ければ気づくこと

本質的・潜在的

内面に対する問いかけ、意識化されていない部分への働きかけ

バラバラの並びのカードを「現象的 → 本質的」の順番に並べると、ワーカーの体験にハマりやすくなる。

【カードの使い方】

1. 課題やテーマを思い浮かべながら、カードを混ぜる。
2. カードを5枚引いて、♠♥♦♣+数字順で並べる。
3. 並んだカードを順に体験する。
4. 自分の気が済むまで、カードを体験する。
5. 以上！

研究発表 3

介護職の自己覚知(self-awareness)を促進するリフレクティブな学習
～エンプティチェアテクニックを活用したワークマニュアルの作成と評価～

大山 博幸（十文字学園女子大学）萩原久子（群馬県介護研修センター）

キーワード：自己覚知、介護福祉士、エンプティチェアテクニック

1 目的

介護保険法に規定される特別養護法人ホーム等介護保険施設や各種在宅サービス事業に従事する介護職（以下介護職）の業務における中心的な取り組みは、介護過程やケアマネジメント過程にみられるように、利用者の生活上の問題解決過程の実施である。しかしながら介護職が直面する利用者の問題には必ずしも容易に解決しえないものも多い。その場合いったん問題解決志向から離れ、現場職員自身のよりオルタナティブな解釈やとらえ方を獲得するために、介護職自身の変容を期待する自己覚知(self-awareness)に基づいた学習が必要となってくる。ここでいう自己覚知とは、援助における利用者との関係の中での気づきであり、あるいは援助状況の中の援助者としての介護職自身への気づきである。このような気づきから現場介護職は自身のあり様やものの見方への変容を促すものである。関係の中での自己覚知を得るには、介護職自身の内的感情的な過程をも含みこんだリフレクティブな学習が必要となる。また現場介護職は日々の（多忙な）通常業務を遂行する中でこのような学習を限られた時間の中で行っていかねなければならない。

これらのことを踏まえ、筆者らは現場職員の自己覚知を促進するリフレクティブな学習として、ゲシュタルト療法の中心的な技法のひとつであるエンプティチェアテクニックの要素を参考にしたワークマニュアル「気になる利用者になってみる」ワークシートを作成し、介護福祉士を持つ現場介護職を対象に実施した。本研究はこの自己覚知に基づいた学習を促進することを目的に作成したワークマニュアルを使ったリフレクティブな学習の効果およびその運用を効果的に進めていくための要件を、質問紙調査の結果から明らかにする。

2 研究の手続き

平成 24 年 12 月に行われた A 県の事業である認定介護福祉士養成研修本講義受講者 87 名（男性 37 名、女性 50 名）を対象とした。本研究事例においては、調査を行うに当たり本研修のはじめに、本研修受講生に調査協力を依頼した。調査は、無記名の質問紙形式で行い結果は統計的に処理するため個人は特定されないこと、また調査結果は研究者が研究の目的にのみ使用し、本研修の成績評価とは関連がないことを伝えた。また本研究を学会発表、報告することの了解を S 県研修担当者から得た。

本研修中、自己覚知に関する内容の講義をした後、沢崎（1993）の自己受容測定尺度を実施した。次に自己覚知に基づいた学習教材として筆者が、国内の代表的なゲシュタルト療法家である百武（2004）を参考に作成した、「気になるご

利用者（ご家族）になってみる」ワークを実施した。実施の手順としては、最初に筆者があらかじめ作成したワーク実施マニュアルを配布、説明し、筆者（研修講師）が任意の受講者を対象にワークを教示する促進者となってワークのデモンストレーションを行った。その後受講者二人一組で、一人はワーク実施者として、もう一人はそのマニュアルを用いてワークを教示する促進者としてワークを行ってもらった。ワークは一人が2回（2場面）ずつ交互に行った。ワーク実施直後、ワーク実施直前に行った自己受容測定尺度及び、主に理論モデルとなる自己覚知に基づいた4つの学習の領域・方向（大山、2012）に基づいて筆者が独自に作成した本ワークの実施に関する調査票（ワークを体験したことに関する質問42項目、パートナーに教示したことに関する項目6項目、いずれも5段階評定。および本ワーク体験に関する自由記述を求める質問1項目。対象者自身に関する属性を問う質問4項目＜性別、年齢、就業経験年数、習得している関連資格＞）の記入を無記名で求めた。

3 結果と考察

事例研究における結果では、ワーク実施前後に行った自己受容測定尺度においては、構成する5因子の得点すべて上昇しており有意であった。独自に作成した本ワークの実施に関する調査票の項目のうち、自己覚知に基づいた学習における4つの領域・方向に対応して作成した24項目に対してSPSSを使って探索的因子分析を行ったところ、対応関連する因子が抽出された。また自由記述からも自己覚知に基づいた学習がなされたことが読み取れる個々の記述が確認された。

本研究結果から、研修という場の中で、多数の学習者に対して学習者同士によってワークマニュアルを活用し短時間のうちに実施するワークであったものの、おおむね本ワークによって、学習者において自己覚知が促進された、あるいは自己覚知に基づいた学習が促進されたことが示唆された。

「いま、ここ」での気づきを指向する実存的な思想をゲシュタルト療法は含み持つ。介護職が問題解決志向から、一時的に離れ（保留し）、あらためて自身とご利用者との関係において「何が起きているのか」「なにをしているのか」と、事実そのものをとらえなおす機会を与えてくれる。また関係の中の「いま、ここ」での気づきは、伝統的なソーシャルケースワーク論における自己覚知の本質的な意味でもある。このような機会の中で現場の介護職は自身の変容の手がかりを得ながら、目の前のご利用者との関係をよりリアルに生きてくことができるようになると思われる。

しかしながら本教材としてのワーク運用に関する課題や学習者個々の学習結果の差異に関する分析の必要性など、今後の課題がある。

4 参考文献

※百武正嗣 エンプティチェアテクニック入門. 川島書店 2004

※大山博幸 福祉領域における援助者の自己覚知に基づいた学習—省察的・変容的学習の次元へ—. 十文字学園女子大学人間生活学部紀要第10巻 2012

ゲシュタルト療法の「今、ここでの気づきと我-汝の関わり」を用いた
心療内科でのカウンセリング事例

有村靖子 (たばたメンタルクリニック カウンセリングルーム Wing)

I 目的

ゲシュタルト療法において、「今、ここ」へのアプローチは、根幹である。しかし、精神科・心療内科でのカウンセリングでは、「今、ここでの気づき」以前に「今、ここにいること」ができないクライアントが多い。それに加え、自己肯定感が低く、自虐的で、自殺念慮を抱えているクライアントも少なくない。そのクライアントに対して「今、ここ」へのアプローチとして、「中間領域」や「内部領域（感情）」ではなく、「外部領域」「呼吸」への関わりを多く取り入れて面接を行った。また、「我-汝の関係」を「対等の関係」であると狭義にせず、「汝=出逢うべくして出逢った人・感覚」と捉え、「我-汝」=「クライアントとクライアント自身の気づき」に向くよう関わること（=汝的関わりと表現）で、クライアントが自身を支えることを体験し、「今、ここ」にいることの大切さに気づき、現実社会で生きていく力に繋がるという仮説を持ち面接を行った。

II 事例

ケース A：躁鬱病 30代 女性 期間：1年1ヶ月 全30回

主訴：40才目前で、結婚も仕事もしていない人生はみじめだから死にたいがこれ以上親に迷惑もかけられない。わがままな自分だから人生がダメになったと語る。他の心理療法やコーチングなどを経験し、頭の理解は進んだが心は満たされなくて苦しい。

面接初回～5回：自立したい気持ちから仕事に就くことがクライアント（=CL）の目的となっているが、親や人との関係を上手く創れず苦しさを抱えている。初回、汝的関わりとして「思いやり」のイメージをからだで感じることを提案する。5回目に呼吸へのアプローチと気づきのエクササイズにより「今、ここへ」の気づきを促す。

面接6回～13回：未来や過去ではなく「今、ここへ」居ることを意識し始めているが、上手く行かないという。カウンセリングでは受け止められ、両親からは否定されたように感じて落ち込むという繰り返しの日々が続く。自分がダメになったのは親のせいだという思いが強くなる。母親自身も娘を抱えきれず入院を願い他の病院へ入院となる。汝的関わりとして「苦しんでいる友だち=CL」と想像してエンプティチェアの提案。涙が溢れ、自分を否定したくないのに否定していることを表現する。

面接14回～22回：入院中、親と離れたことで気分の安定はあったが、親との関係は変わらず苦しさを抱えたままの状態が続く。からだの感覚から出たイメージ、視覚での気づきのエクササイズを提案するが「つまらない」「よくわかんない」という反応で、今にすることができない。

面接23回～28回：絵が得意であることから、4コマ漫画や浮かんだイメージを投影として捉えカウンセリングを実施。CL自身が自分をサポートする力が出ていることを少しずつではあるが感じられるようになっていく。カウンセリングで「どうにかなるかも」と思える瞬間があるが、両親との関係ではやっぱり無理だという絶望感との間で揺れている。しかし「上がろうとして引きずりおろされる」と表現していて、自分自身を何とかしようとしていることを自覚し始めている。

面接29回～30回：父親に初めて反発する。ずっと親のせいだと責める気持ちだけだったがそうではないかもという気づきを得る。自宅で、呼吸に意識を向けたり、瞑想も毎日20分くらいしたりすることができるようになっていく。アルバイトではあるが、自ら仕事を見つけて働き始めている。

ケースB：境界性パーソナリティ障害 40代 女性 期間：1年4ヶ月 全13回

主訴：どうなってもいいと思っているが、医師に勧められたからということで来談。

面接初回～3回：「朝、死んでいたとしても後悔はない」と人生を投げている発言が続くが、冷静に語りながら突然感情が溢れる。父親からの性的虐待のトラウマからか、孤独感からの恐れと自己存在への否定から交際相手にイライラが向き、振り向かせる手段として処方された薬を多量服用する。呼吸へのアプローチで今にいることを意識化し、自殺しない約束で次回へのカウンセリングを繋ぐ。

面接4回～8回：介護講座へ通いそこで人間関係、母親との関係に気分が揺れる。呼吸での「今ここにいる」提案をしながら、命があることやカウンセリングでの出逢いの感謝を伝えながらCLの存在の大切さへアプローチする。

面接9回～11回：介護の仕事に就く。性的虐待を受けていた父親が亡くなり、恨みをはらす目的を失ったことで自分の人生の意味を見失い、アルコールと薬の多量服用。完璧を求める性格から適当な仕事をする人も自分も許せないことで疲労がピーク。

面接12回～13回：自分が大事にされていないと感じた瞬間に怒りが爆発し、それが自分に向く（反転）ことに気づき、その苦しさを表現できたことで力が抜ける。気持ちの表現の代用として薬を多量服用していることに気づき、それをしない代わりにカウンセリングに来たと語る。

Ⅲ結果・考察

ケースA、BどちらのCLも人生を諦め、自己否定的で自殺念慮が強いこともあり、スモールステップの提案・実験がほとんどだった。ケースAでは、内側に意識が向くと苦しさが強まり、ケースBでは、感情の振れ幅が大きいことから、外部領域への気づきと呼吸に意識を向けることを中心に、「今ここにいる」練習を提案した。提案に難しさや面倒な感じを表現する場面も多々あったが、エネルギーと捉え、それ自体に「我（カウンセラー）- 汝（クライアント）」の関係を向けるように心がけた。後半、カウンセリングの時間内では、表現されなかった感情や呼吸法、抵抗を示した気づきのエクササイズも、少しずつではあるが日常生活の中で意識化されるようになった。結果、CLが「自分の人生を生きる」という意識が生まれ、社会と繋がりたい気持ちが強くなり仕事を持つサポートのひとつになったと考える。カウンセラーが、CLの抵抗を生きたエネルギーと捉えられずに、反転することでCLの成長を阻害してしまう可能性もある。カウンセラー自身が「今ここ」にいられるよう自己研鑽を積む必要を痛感する。

Ⅳ結語

「我-汝」の関係を「カウンセラー-クライアント」だけではなく「クライアント-クライアントの気づき」に向くように関わること、「外部領域」「呼吸」に意識を向けて「今ここ」をサポートすることが、クライアントが現実で生きる力を獲得するサポートのひとつと考える。

「被災地の現状についてー石巻市からー」

石巻市健康部健康推進課 保健師 高橋 由美

東日本大震災で石巻市は 3,500 人余りの多くの方を亡くし、大きな津波被害を受けました。あれから 2 年 4 か月が過ぎようとしている今、石巻では、津波被害があった建物も取り壊され、街並みもきれいになり、生活も落ち着いたかのように見えています。

しかし、今も、7,000 戸の仮設住宅、5,600 戸余りのみなし仮設住宅で暮らす 30,000 人以上の被災者が、大きな心の問題や経済的な問題を抱えて暮らしています。

そのなかで、仮設住宅入居者同士の近隣のトラブル、不眠や心の問題、高齢者の認知症などの要介護者の増加、男性のアルコール問題等、津波被害の爪痕は大きく被災者の心や健康面にもものしかかっています。

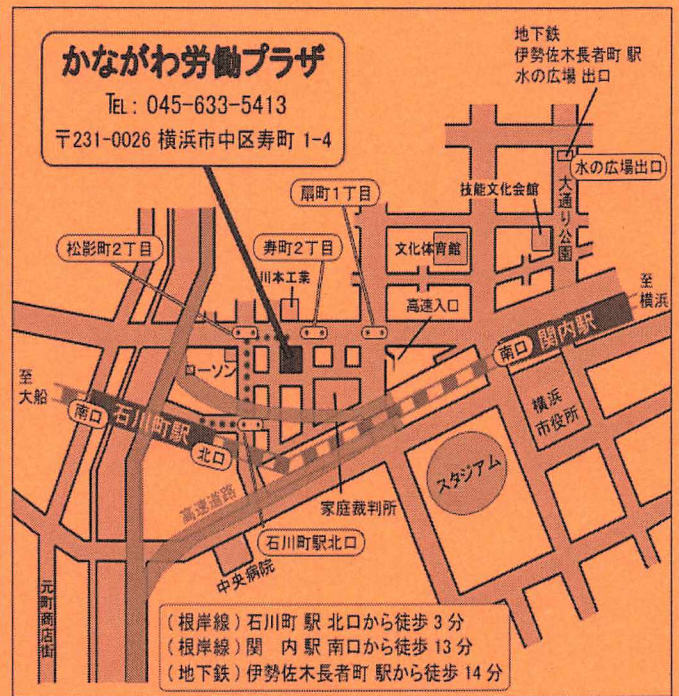
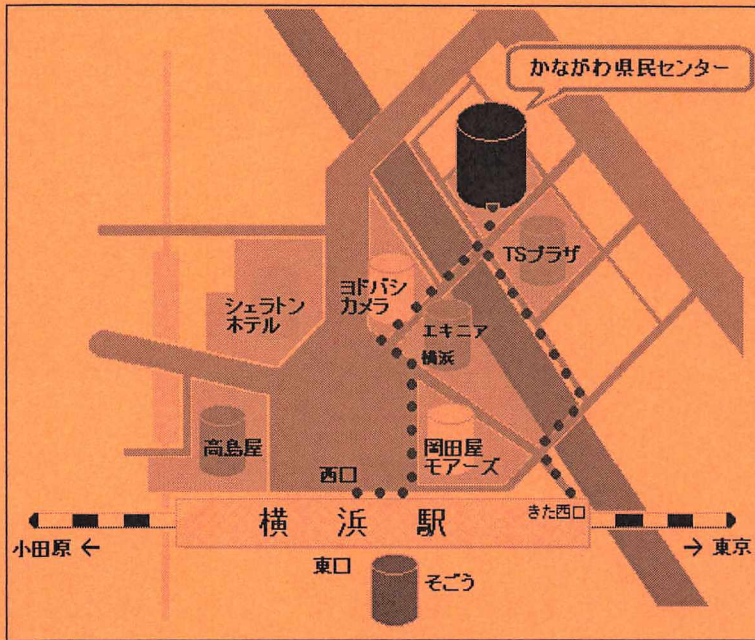
今、被災地で何が起きているのか。保健師として健康支援している立場から見えてきている現状と取り組み、そして今後の課題について報告させていただきます。

《会場案内》 1/13の会場移動は、20分弱の時間を要します

メイン会場 == かながわ県民センター ==

== かながわ労働プラザ ==

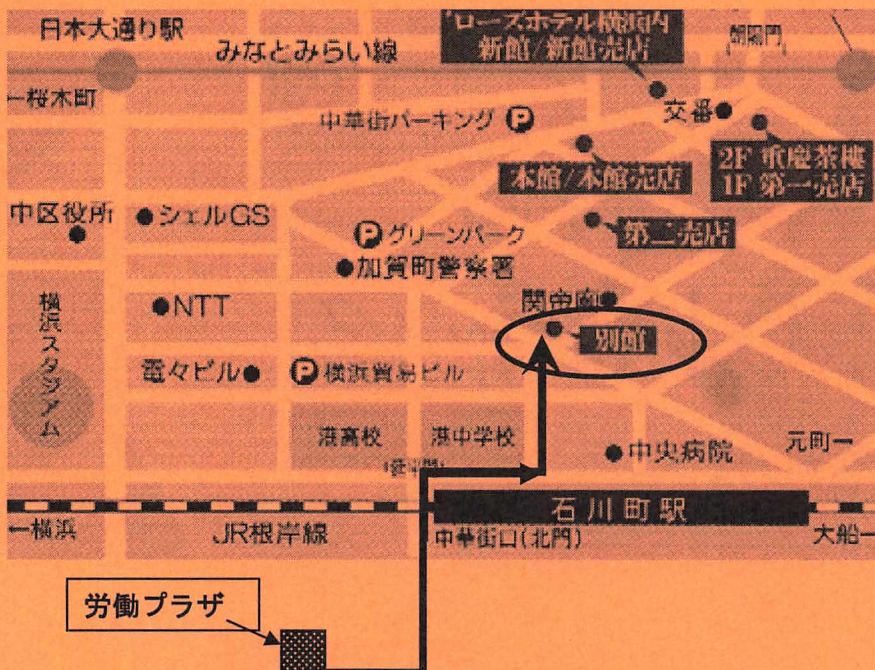
1/13 午後 ワークショップ会場



「横浜駅」西口・きた西口から徒歩およそ5分
 《市営地下鉄の場合》
 「横浜駅」地下鉄出口8から、地下街を通り、「中央モール」を
 左折、「北6」出口を出て、徒歩およそ2分

(根岸線) 石川町駅 北口から徒歩 3分
 (根岸線) 関内駅 南口から徒歩 13分
 (地下鉄) 伊勢佐木長者町 駅から徒歩 14分

懇親会会場 重慶飯店 <別館>



労働プラザ

日本ゲシュタルト療法学会第4回学術大会

「ゲシュタルト療法の基礎と多様性、それらを繋ぐ創造性」

開催日：2013年 7月13日(土)・14日(日)

会場：かながわ県民センター／かながわ労働プラザ

大会長：江夏 亮(カリフォルニア臨床心理大学院)

7月13日(土)

～午前のみメイン会場～ 「かながわ県民センター」 2階ホール

9:30 受付

10:00 開会式

10:10 基調講演 江夏 亮(日本ゲシュタルト療法学会第4回学術大会 大会長)

「ゲシュタルト療法の基礎と多様性、それらを繋ぐ創造性」

11:40 総会

12:30 <昼食・休憩> 《注意》会場移動 ⇒午後は「かながわ労働プラザ」4階会議室

14:00～17:00 ワークショップ1～4

① 上級者対象ライブ・スーパービジョン /岡田法悦・守谷京子

② 第7会議室(30人) 基礎編/有村凜

③ 第8会議室(18人) 基礎編/三井洋子

④ 第6会議室(30人) 「論文の書き方」(仮)

17:30 懇親会 重慶飯店別館(中華街) TEL 045-641-8386

7月14日(日)

～終日メイン会場～ 「かながわ県民センター」 2階ホール

9:30 受付

10:00 研究発表(4本-6本)

13:00 <昼食・休憩>

14:00～16:00 シンポジウム

「ゲシュタルト療法の基礎と多様性、それらを繋ぐ創造性」

シンポジスト : 岡田法悦(ポーラの流れ)

田中幸治(ポーラの流れ)

守谷京子(リッキーの流れ)

定行俊彰(松井洋子の流れ)

コーディネーター : 中西 徹(福岡・GNF)

16:10 閉会式

＝ 参加・申し込み方法 ＝

◆申し込み先

第4回学術大会事務局 E-mail gakutai kai2013@gmail.com (HP掲載)
電話 045-752-1759 (JAGT 事務局)

◆必要事項

- 会員 ①会員番号 ②氏名 ③懇親会の出欠 ④1日参加の場合、参加日の明記
一般 ①氏名 ②住所 ③電話番号 ④E-mail アドレス ⑤懇親会の出席
⑤1日参加の場合、参加日の明記

◆参加費 (事前登録期間は、3月1日～5月末)

《学生・院生》← 当日学生証提示

会員	事前登録	4,000円	2,000円
	6月～当日	5,000円	3,000円
一般	事前登録	5,000円	3,000円
	6月～当日	6,000円	4,000円
懇親会費		5,000円	

◆振込先

三井住友銀行 横浜駅前支店 普通預金
口座番号 8863229 日本ゲシュタルト療法学会

《会場案内》 ★★1/13の会場移動は20分弱の時間を要します★★

メイン会場(1/13 午前・1/14 全日)

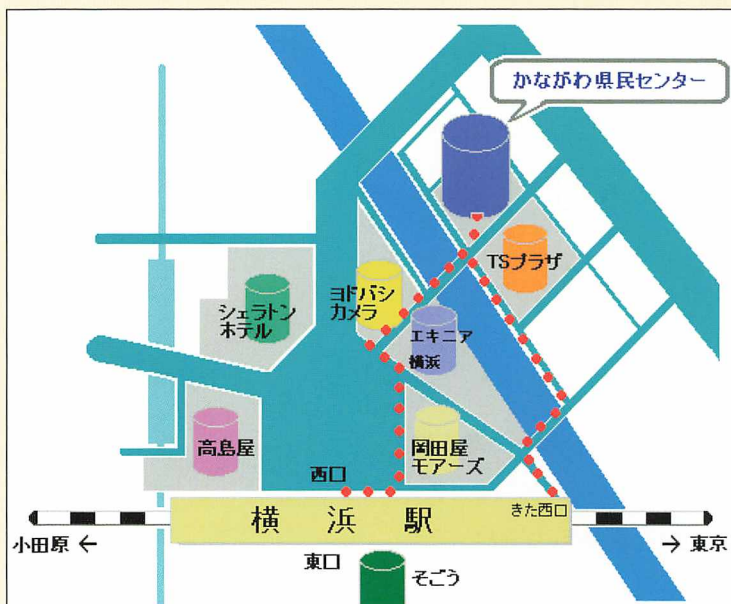
＝＝**かながわ県民センター**＝＝

電話 045-312-1121(代表)

1/13 14:00～ワークショップ会場

＝＝**かながわ労働プラザ**＝＝

電話 045-633-5413(代表)



「横浜駅」西口・きた西口から徒歩およそ5分

《市営地下鉄の場合》

「横浜駅」地下鉄出口8から、地下街を通り、「中央モール」を左折、「北6」出口を出て、徒歩およそ2分



(根岸線) 石川町駅 北口から徒歩 3分
(根岸線) 関内駅 南口から徒歩 13分
(地下鉄) 伊勢佐木長者町 駅から徒歩 14分

2013年1月

JAGT

日本ゲシュタルト療法学会第4回学術大会 (第1報)

プログラム

大会テーマ

「ゲシュタルト療法の基礎と多様性、それらを繋ぐ創造性」

開催：2013年 7月13日(土)～14日(日)

会場：かながわ県民センター／かながわ労働プラザ

大会長：江夏 亮 (カリフォルニア臨床心理大学院)

第4回大会に寄せて

日本ゲシュタルト療法学会第4回学術大会

大会長 江夏 亮

2013年度の日本ゲシュタルト療法学会第4回学術大会は横浜で開催することになりました。前大会のテーマは「多様な現場で活用されるゲシュタルト療法の役割」でした。これを一歩進めてみましょう。多様な現場でゲシュタルト療法をより役立つものにするためには、それぞれのゲシュタルトセラピストがその現場に合うように、より効果的にゲシュタルト療法を適用する工夫を求められます。その時、基礎をより深く理解していれば、より効果的に応用できると考えられませんか？そこで、この学術大会では、ゲシュタルト療法の基礎と、それを多様な現場（及びクライアント層）に応用した結果としての多様性に着目する事にしました。また、基礎と多様性を繋ぐキーワードとして、創造性を選びました。

ゲシュタルト療法の効果に寄与する基本的な因子・要素は何でしょう。タイトルの「基礎」にはこのような意味合いを含ませました。この意味からすると、日本のゲシュタルト療法の基礎と欧米での基礎に違いがあるかもしれません。個人の心理的・文化的な背景が異なるからです。背景が異なれば、当然、前景も異なります。日本社会という「今、ここで」のゲシュタルト療法の基礎は、そこで実践をしている人々の経験の共有と議論から生まれてくる部分を必要とするのではないのでしょうか。これを形にする目的で、シンポジウムをもうけました。異なる先生から学んだ日本のゲシュタルトの実践家からどのような議論が生まれるのか、楽しみです。

各人が基礎を共有できれば、それぞれの多様性を認め合うのも容易になります。日本人はとかく、自分達の集団と違う人を抑圧し、排他、排斥する傾向があります。この傾向は、学校での生徒、児童のいじめの背景的な要因として存在するだけでなく、大人社会にも存在するかもしれません。個人の心の中で、抑圧され、排斥された部分を、ゲシュタルト療法では、disowned part と呼び、その統合がゲシュタルト療法の方向性の一つです。そうであれば、その精神をグループにも広げ、この大会でも実践していきたいと思います。「え！それがゲシュタルトなの」と寛容に互いに認め合う瞬間をより多く共有して、豊かな多様性が花開く事を願います。

最後は創造性です。皆さんの現場でゲシュタルトをこれまで以上に効果的に使おうとすれば、その答えは、その現場をよく知っている皆さんの中にあるはずです。それを見出すためには、創造性の発揮が鍵となるのではないのでしょうか。このプロセスの中で、それぞれが独自のやり方を創意工夫すれば、それは、この学会全体の成長と同義語になります。

それぞれの経験を学会で発表して、みんなの知恵につなげましょう。

前回大会と同様、本大会も実りあるものとなりますよう、皆さま方の暖かいご参加をお願いいたします。

【大会プログラム】

7月13日(土)

～午前のみメイン会場・・・かながわ県民センター

- 9:30 受付
10:00 開会式
10:10 基調講演 江夏 亮 (日本ゲシュタルト療法学会第4回学術大会 大会長)
「ゲシュタルト療法の基礎と多様性、それらを繋ぐ創造性」

ゲシュタルト療法の効果因子の一つに、「気づき」を得るということがあります。気づきを得るためには、意識を向ける、注意を向ける必要があります。即ち、意識や注意には指向性があります。そしてこの指向性の先には、指向される対象として、ゲシュタルトの3つの「気づき」の領域があります。私達の意識がこれらの領域を自由に行き来するとどうなるのでしょうか。ゲシュタルトの可能性が広がると考えられます。このような事柄を新しいモデルに添って話を展開します。少しでも皆さんの刺激になれば幸いです。

- 11:40 総会
12:30 <昼食・休憩>
《注意》～会場移動・・・午後は「かながわ労働プラザ」の会議室となります
14:00～17:00 ワークショップ1～4
17:30 懇親会

7月14日(日)

～終日メイン会場・・・かながわ県民センター

- 9:30 受付
10:00 研究発表(4本-6本)
13:00 <昼食・休憩>
14:00～16:00 シンポジウム
「ゲシュタルト療法の基礎と多様性、それらを繋ぐ創造性」

概要：流れの異なるゲシュタルトセラピストをシンポジストに迎え、それぞれ自分のスタイルについて発表してもらいます。それらを通して、スタイルが異なるゲシュタルトセラピーの共通点と多様性の理解を深め、自分の個性を活かしたゲシュタルトセラピーを創造していく手がかりになればと思います。

- 16:10 閉会式

<学術大会参加申し込み>

◆申し込み受付開始：3月1日より

学会員の方は ①会員番号 ②氏名 ③懇親会の出欠、一般の方は ①氏名 ②住所 ③電話番号 ④E-mail アドレス ⑤懇親会の出欠を下記の大会事務局までEメールか電話にてお申し込みのうえ、参加費をお振込みください。1日のみ参加の方は参加日を明記してください。学生・院生の方は、申込時に申告していただき、当日学生証をご提示ください。

第4回学術大会事務局 E-mail gakutaikai2013@gmail.com

電話 045-752-1759 (JAGT 事務局)

参加費 (5月末日までの申し込みを事前登録とします)

事前登録	会員	4000円	非会員(一般)	5000円
当日参加	会員	5000円	非会員(一般)	6000円
学生・院生事前登録(会員)		2000円	非会員	3000円
学生・院生当日参加(会員)		3000円	非会員	4000円
懇親会費		5000円		

振込先

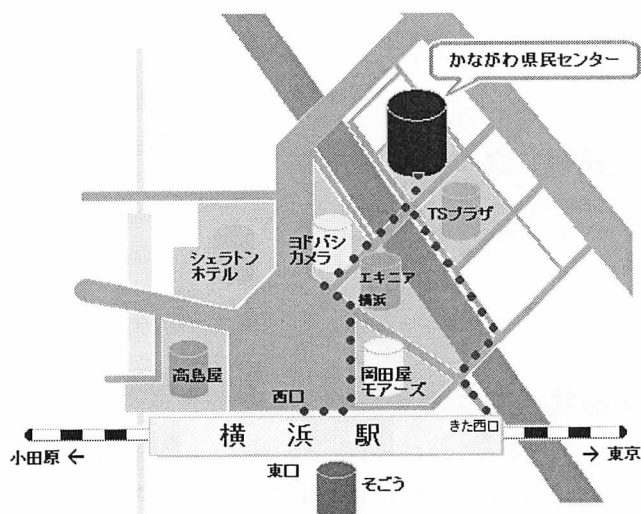
三井住友銀行 横浜駅前支店 普通預金 口座番号 8863229 日本ゲシュタルト療法学会

《会場案内》

メイン会場＝＝かながわ県民センター＝＝

〒221-0835 神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2

電話 045-312-1121(代表)



「横浜駅」西口・きた西口を出て、徒歩およそ5分

《市営地下鉄の場合》

「横浜駅」地下鉄出口8から、地下街を通り、「中央モール」を左折、「北6」出口を出て、徒歩およそ2分

7/13 午後 ワークショップ会場＝＝かながわ労働プラザ＝＝

〒221-0835 神奈川県横浜市中区寿町 1-4

電話 045-633-5413(代表)

<研究発表募集>

1. 演題登録期間 2013年2月1日(金)受付開始～
2013年3月29日(金)24時 受付終了

2. 発表抄録原稿 締め切り：2013年5月31日(金)

3. 発表者について

発表者は、演題登録締め切りまでに本学会会員であることが必要です。会員でない方は日本ゲシュタルト学会事務局(JAGT)までお問い合わせいただき、入会手続きをおとりください。

4. 発表方法

一人当たり発表時間は30分とします(発表20分、質疑応答10分、発表者の人数により変更の可能性もあります)。発表時に資料を配布される場合は、70～80部程度をご用意ください。口頭発表に際してはPowerPoint等の機器の利用が可能です。

5. 発表演題・抄録原稿の送り先

学会事務局にEメールか郵便で大会長宛てでお送りください

(郵便の場合、データを同封のこと)

E-mail：学会事務局 jagt@ja-gestalt.org

メールの件名またはヘッダーを「第4回大会発表演題、お名前」または「第4回大会発表抄録原稿、お名前」で始めて下さい。

郵便：学会事務局

住所：〒235-0023

横浜市磯子区森1-10-9-201 ハートフリースペース内

JAGT 日本ゲシュタルト療法学会

宛名：第4会学術大会大会長

封筒の表の左下に、「第4回大会発表演題」または「第4回大会発表抄録原稿」と朱書きして下さい。

6. 発表抄録の作成要領

発表抄録原稿は下記の作成要領を参考にして、原稿をメール(添付ファイル)か郵便(データを同封)で学会事務局までお送りください。様式は、A4版ワープロ用紙(白紙)に横書きとします。字体は明朝体とし、指定された字の大きさで作成してください(題目、発表者、所属は中央揃え、本文はヨコ40字×タテ40行)。枚数は2ページ以内です。



(*上余白: 2cm あける)

福祉現場におけるエンプティチェアの実践の試み

(*タイトルの文字は 12 ポイント。1 行あける)

〇〇川 〇美 (〇〇〇〇クリニック)

(名前の大きさは 12 ポイント・所属: の大きさは 10.5 ポイント。1 行あける)

【目的】福祉現場におけるエンプティチェア・テクニックを实践……

【方法】〇〇クリニックの同意が得られたクライアントを対象に、エンプティチェア・テクニックを实施……

(*左右余白 2cm)



2cm

2cm



2cm

…… (*本文の文字の大きさは 12 ポイントとする)

【結果・考察】エンプティチェアを实施したA群は、对照群と比べ……

2cm

.....

本研究の結果から、.....

(*下余白: 2cm あける)



日本ゲシュタルト療法学会第4回学術大会チラシの訂正



7月13日(日) 11:10~11:40 「論文の書き方講座」を追加しました
14:00~17:00 かながわ労働プラザ4階第6会議室
「創造的なゲシュタルトワークショップ」に変更になりました

7月13日(土)

～午前のみメイン会場～ 「かながわ県民センター」 2階ホール

9:30 受付

10:00 開会式

10:10 基調講演 江夏 亮 (日本ゲシュタルト療法学会第4回学術大会 大会長)
「ゲシュタルト療法の基礎と多様性、それらを繋ぐ創造性」

11:10 論文の書き方講座：論文はこう読もう！

中本テリー (臨床心理学博士、カリフォルニア心理専門職大学院、
湘南記念病院、神奈川県西部地域若者サポートステーション)

11:40 総会 (学会員のみ)

12:30 <昼食・休憩> 《注意》会場移動 ⇒午後は「かながわ労働プラザ」4階会議室

14:00~17:00 ワークショップ1~4

① 第3会議室(72人) 上級者対象ライブ・スーパービジョン/
ゲシュタルト・インスティテュート 岡田法悦・IPG 守谷京子

② 第7会議室(30人) 基礎編/鹿児島 GAF ネット 有村凛

③ 第8会議室(18人) 基礎編/長野ゲシュタルト研究会 三井洋子

④ 第6会議室 (30人)

創造的なゲシュタルトワークショップ：花セラピーとゲシュタルト

(財)国際花と緑のセラピー協議会 青山克子

17:30 懇親会 重慶飯店別館 (中華街) TEL 045-641-8386

第12回全国ファシリテーター集会のご案内

2013年度第12回全国ファシリテーター集会を下記の通り開催します。
参加ご希望の方は、内容をお読みいただき、JAGT事務局までお申し込み下さい。

2013年

7月15日(月祝) 9:30~16:00(予定) かながわ労働プラザ 第3会議室

●かながわ労働プラザ 045-633-5413

<http://www.zai-roudoufukushi-kanagawa.or.jp/~l-plaza/>

神奈川県横浜市中区寿町1-4

JR京浜東北線(根岸線) 石川町駅北口から徒歩3分

●募集人員:40名
(先着順 定員になり次第締め切ります)

●参加費:5,000円

●参加資格

JAGT会員でゲシュタルト療法トレーニングコース(またはこれに相当するコース)を修了またはゲシュタルト療法を250時間以上修了している方

※ 当日のセッションでファシリテーションができるのは、参加要件を満たしたうえで2年以上ファシリテーターとして実践されているトレーナー希望者のみです。

※ トレーナー希望者は事前に登録が必要です。現在、一次登録を締め切っております。新たに登録を希望される方は、事務局までお問い合わせください。

●参加申込:会員番号・氏名をJAGT事務局までご連絡のうえ、参加費をお振込み下さい。

ご注意!

本申し込みは、JAGT事務局で受け付けます。

第4回学術大会の参加申し込みは、大会事務局が担当します。申し込み先が別になりますので、お間違えのないよう、よろしくお願いいたします。

お電話での申し込みの際は、「全国ファシリテーター集会参加」とわかるようにお伝えください。



JAGT 日本ゲシュタルト療法学会 事務局

電話 045-752-1759 (平日9:00~18:00 土曜17:00まで)

E-mail jagt@ja-gestalt.org

振込先: 三井住友銀行 横浜駅前支店 普通預金 8863229
日本ゲシュタルト療法学会

235-0023 横浜市磯子区森1-10-9-201 ハートフリースペース内

日本ゲシュタルト療法学会第4回学術大会

「ゲシュタルト療法の基礎と多様性、それらを繋ぐ創造性」

開催日：2013年 7月13日（土）・14日（日）

会場：かながわ県民センター／かながわ労働プラザ

大会長：江夏 亮（カリフォルニア臨床心理大学院）

7月13日（土） ～午前のみメイン会場～ 「かながわ県民センター」 2階ホール

9:30 受付

10:00 開会式

10:10 基調講演 江夏 亮（日本ゲシュタルト療法学会第4回学術大会 大会長）
「ゲシュタルト療法の基礎と多様性、それらを繋ぐ創造性」

11:10 論文の書き方講座：論文はこう読もう！

中本テリー（臨床心理学博士、カリフォルニア心理専門職大学院、湘南記念病院、
神奈川県西部地域若者サポートステーション）

11:40 総会

12:30 <昼食・休憩> 《注意》会場移動 ⇒ 午後は「かながわ労働プラザ」4階会議室

14:00～17:00 ワークショップ1～4

① ライブ・スーパービジョン

／ゲシュタルトインスティテュート 岡田法悦・パーソナルグロース研究所 守谷京子

② 支える・関わる・繋がるゲシュタルトワーク / 鹿児島 GAF ネット 有村凜

③ 心とからだの深呼吸～気づきのエクササイズ～ / 長野ゲシュタルト研究会 三井洋子

④ 創造的なゲシュタルトワークショップ～花セラピーとゲシュタルト（定員 24 名）

／（財）国際花と緑のセラピー協議会 青山克子 参加費（生花代 2,000 円・当日）

17:30 懇親会 重慶飯店別館（中華街） TEL 045-641-8386

7月14日（日） ～終日メイン会場～ 「かながわ県民センター」 2階ホール

9:30 受付

10:00 研究発表（4本） 東日本大震災被災地からの報告（1本）

13:00 <昼食・休憩>

14:00～16:00 シンポジウム

「ゲシュタルト療法の基礎と多様性、それらを繋ぐ創造性」

シンポジスト : 岡田法悦（G I） 田中幸治（GNJ）

守谷京子（I.P.G） 定行俊彰（みやぎダンス）

コーディネーター : 中西 徹（福岡・GNF）

16:10 閉会式

後援 : 日本交流分析学会 日本ロールレタリング学会

NPO法人日本交流分析協会 日本産業カウンセラー協会

= 参加・申し込み方法 =

◆申し込み先

第4回学術大会事務局 E-mail gakutaiikai2013@gmail.com (HP掲載)
電話 045-752-1759 (JAGT 事務局)

◆必要事項

- 会員 ①会員番号 ②氏名 ③懇親会の出欠 ④1日参加の場合、参加日の明記
一般 ①氏名 ②住所 ③電話番号 ④E-mail アドレス ⑤懇親会の出席
⑤1日参加の場合、参加日の明記

◆参加費 (事前登録期間は、3月1日～5月末)

《学生・院生》 ← 当日学生証提示

会員	事前登録	4,000円	2,000円
	6月～当日	5,000円	3,000円
一般	事前登録	5,000円	3,000円
	6月～当日	6,000円	4,000円
懇親会費		5,000円	

◆振込先

三井住友銀行 横浜駅前支店 普通預金
口座番号 8863229 日本ゲシュタルト療法学会

《会場案内》 ★★7/13の会場移動は20分程度の時間を要します★★

メイン会場(7/13 午前・7/14 全日)

== かながわ県民センター ==

電話 045-312-1121(代表)

7/13 14:00～ワークショップ会場

== かながわ労働プラザ ==

電話 045-633-5413(代表)

かながわ県民センター

「横浜駅」西口・きた西口から徒歩およそ5分
《市営地下鉄の場合》
「横浜駅」地下鉄出口8から、地下街を通り、「中央モール」を左折、「北6」出口を出て、徒歩およそ2分

かながわ労働プラザ
TEL: 045-633-5413
〒231-0026 横浜市中区寿町 1-4

《根岸線》石川町駅 北口から徒歩 3分
《根岸線》関内駅 南口から徒歩 13分
《地下鉄》伊勢佐木長者町 駅から徒歩 14分